

デイサービス協力員への支援は

答 補助金等を活用し、地域で頑張ってもらいたい



近藤 佳治 議員

問 市内ほとんどの地区で実施されている地域デイサービス。未実施地区への働きかけは。

高齢者支援課長 現在、実施していない地区は3カ所。2カ所については、公民館の改築をきっかけ

問 市内ほとんどの地区で実施されている地域デイサービスの開始を検討している。地域の自主的な取り組みになるよう支援していく。

問 協力員の確保は。

高齢者支援課長 チラシや回覧板で募集する、家を訪問して声かけをするという方法が一番効果的だと聞いている。

問 協力員は無償だが、どう考えているか。

市長 手当等を出すことは考えていない。高齢者を地域で支えていくというデイサービスなので、



西牟田町行政区サロン
(七夕まつり)

に区長へ提案した。あと1カ所は、午前中のみのデイサービスの開始を検討している。地域の自主的な取り組みになるよう支援していく。

補助金等を活用し、地域で頑張ってもらいたい。

高齢者の居場所づくり支援補助金の申請件数は

問 今年度創設された高齢者の居場所づくり支援補助金の申請件数は。また市内のサロン数は。

高齢者支援課長 補助金の申請件数は1件。申請には至らなかったものもある。生活支援コーディネーターが地域活動する中で把握できたサロンは28カ所ある。

ホークス連携推進室の業務内容は



弥吉 治一郎 議員

問 「課」として「ホークスファーム連携推進室」を新設したが、業務内容は。

ホークスファーム連携推進室長 ホークスとの連携事業の日程調整や事業

内容、関係団体との調整をしている。その他、来場者の安全対策のため、誘導看板の設置や駐車場の警備をしている。また球場周辺で行われるイベントの紹介などもしている。

答 駐車場については、開業当初から球団や警察と協議しており、役割分担として市が誘導案内の警備を一部行うことになった。

答 来場者の安全対策や情報発信などを行っている



ホークスファーム連携推進室の業務は

問 そのような業務は球団の仕事ではないか。市が行う業務ではない。昨年は駐車場の警備委託だけで280万円もの税金を使っている。営利目的

居場所づくり支援補助金は少なすぎる

問 高齢者の居場所づくり支援補助金交付要綱ができたが、補助は1回きりの3万円だ。これでは少なすぎる。参加者1人当たり100円を補助している「さんかく塾」並みの補助に変えるべきだ。

市長 行政区には、いろいろな活動補助金等を交付しているので、うまく工面してもらいたい。